



成果指標				
成果指標	実交換個数/年度内検定満期個数×100 カッコ内は、メーター1個当たり交換単価(円)			
指標設定の考え方	検定満期内に確実に交換を行い、正確な指針数値を表示する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100(2300)	100(2300)	0	0
実績	100(3014)	100(3718)	100(3900)	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	メーター設置場所の条件により、取替作業の容易さに差があるため、これからは設置場所の変更なども検討が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	水道事業経営の根幹となる水道メーターの検針を行い料金を徴収する業務のなかで、計量法に基き施工しなければならない不可欠な事業である。実施にあたっては、水道メーターが個人の敷地に設置されており、作業内容や目的等を事前に利用者に周知するなどして理解と協力を得る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題